

令和8年4月1日付け人事異動の概要

令和8年度人事異動については、第7次総合計画後期基本計画のスタートの年であり、計画掲載事業及び私の公約を実現させるための新たな取り組みを行うため、機構改革を行います。

今回は、新たな組織に見合った配置とし、バランスよく配置転換することで、適材適所も考慮した人事異動としました。

また、役職定年職員を「(行政) 補佐」とし、これまでの技術や知識を伝えるとともに、組織のサポート役を担うための役職とします。

1. 総務部関連

「デジタル戦略・広報室」を設置し、市民への情報発信力の強化を図り、デジタル化を推進します。

行政経営推進室においては、公共施設等総合管理計画個別施設計画の見直しを行うために、施設の躯体の老朽確認など専門性を有する建築技師を配置しました。

2. 市民部関連

「戸籍年金班」と「支所窓口班」を一体として「市民窓口班」とし、支所窓口機能の業務委託を推進する体制としました。また、空き家については、空き家バンクの有効活用を含めた適正管理を行うための体制としています。

3. 健康福祉部関連

医療ビジョンによる医師確保や地域医療環境を整えるため「地域医療推進室」を設置し、次長級と政策監を配置しました。また、保健活動の組織横断的な推進を図るため、経験豊富な職員を管理監督職に配置しました。

4. 産業部関連

「商工振興課」を新設し、返礼品の拡充による寄附額の増加を目指すためふるさと納税業務を所管するほか、カーボンニュートラルの目標実現のため、県と人事交流を継続します。

農業振興では、「経営強化対策班」を設置し、圃場整備と地域計画を一体で推進します。農地林務においては、「鳥獣対策班」を設置し、有害鳥獣被害対策の強化を図るほか、「農地・森林経営班」を設置し、農地保全や森林経営管理を一体で推進する体制としました。

5. 観光戦略部関連（新設）

交通施策や文化財の保存・活用を観光施策と一体で推進し、国内外から観光客が訪れ、持続可能な観光地域の創出を目指すため部を新設し、「観光交通課」と「文化財・世界遺産課」を設置します。観光交通課では、観光振興のほか公共交通施策と観光アクセスを一体で推進する体制としました。文化財・世界遺産課では、文化財保存活用地域計画による収蔵品や資料等のデジタル化などの事業を着実に推進するため学芸員資格のある職員を重点的に配置しました。

また、DMOとの連携を強化するため、鹿角観光ふるさと館に事務室を設け、観光振興や世界遺産の活用促進を図ります。

6. 建設部関連

橋梁長寿命化計画による市道や橋りょうの安全・安心な道路交通の確保や、頻発する自然災害等へ対応するための体制としています。

また、引き続き暮らしを支える水道水の安定した供給と衛生環境の保持に努めます。

7. 教育委員会事務局

「総務学事課」を「教育総務課」とし、学校教育環境の安全性の確保やICT教育の推進や学校再編を進めるほか、「教育政策班」を設置し、鹿角高等学校の魅力化や地域みらい留学などを推進する体制としています。

社会教育については、若者が地域について考え、行動するための活動を支援する若者議会の実施に向けた体制とするほか、芸術文化の振興を図るため、文化の杜交流館内に「芸術文化振興班」を設置し、文化芸術活動を支える人材を育成するための体制とします。

スポーツの推進については、インターハイスキー大会が開催されることから、大会を成功させるとともにスポーツ団体などとの連携を強化するための体制としました。

8. 女性職員の登用

今回の異動では、女性の昇任者は、次長級に1人、課長級に2人、政策監級に1人、主幹級に1人、主査級に3人、主任級に4人と、合計12人となっており、全体の昇任者25人中、48.0%（R7年度は41.5%）であります。

これにより、課長級（政策監含む）以上の職員は13人（前年度11人）で管理職に占める女性職員の割合は、26.7%（前年度24.4%）、また、副主幹級以上の女性職員は合計34人（前年度33人）となり、管理監督職に占める割合は35.1%（前年度32.7%）となりました。

今後も女性の管理職への昇任を積極的に推進していきます。

9. 人員配置について

(1) 組織の活性化と職員の士気高揚を図るため、年齢、経験年数に加えて、能力・業績に基づく人事評価等の結果を踏まえた昇任を行いました。

(2) 将来に向けたキャリア形成のため、幅広い分野で職務経験を積んでいただくことを基本に、職務意識調査による本人の意思も尊重し、概ね4年以上同一職場に在籍した者の配置換えを優先的に行いました。

【参考】

■異動内容 職員280人（令和8年4月1日現在）

異動者数 126人（45.0%）

うち兼務のみ10人

うち昇任25人

（昇任内訳）

部長級への昇任 1人（女性0人）

次長級への昇任 2人（女性1人）

課長級への昇任 5人（女性2人）

政策監級への昇任 2人（女性1人）

主幹級への昇任 1人（女性1人）

副主幹級への昇任 2人（女性0人）

主査級への昇任 5人（女性3人）

主任級への昇任 7人（女性4人）

計 25人（女性12人） ※R7 41人（女性17人）

■機構概要（教育委員会含む）

令和8年度 20課4室 34班 5課内室 1事務局

うち市長部局

17課4室 29班 5課内室

※R7 18課2室 35班 6課内室

うち市長部局

15課2室 31班 6課内室

■異動希望どおりの職員 86.1%

（内訳）異動を希望する職員のうち異動した職員 65.2%

異動を希望しない職員のうち異動しなかった職員 77.8%